

5. 事業計画の変更に伴う予測・評価の見直しについて

「4.2 工事工程の変更内容」に示した変更に伴い、予測・評価の見直しが必要となる項目の検討を行った。検討の結果は表 5-1 に示すとおりである。

各項目ともに予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。

表 5-1(1) 予測・評価の見直しの必要性

環境影響評価の項目		予測事項	見直しの必要性	理由
大気汚染	工事の施行中	建設機械の稼動	×	外構工事期間が延長となるものの、建設機械による大気汚染物質の排出量が最大となる期間に変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
		工事用車両の走行	×	外構工事期間が延長となるものの、工事用車両台数が最大となる時期に変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
	工事の完了後	関連車両の走行	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
		地下駐車場の利用	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
騒音・振動	工事の施行中	建設機械の稼動	×	外構工事期間が延長となるものの、建設機械による騒音・振動が最大となる時期及び建設機械の配置に変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
		工事用車両の走行	×	外構工事期間が延長となるものの、工事用車両台数が最大となる時期に変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
	工事の完了後	関連車両の走行	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
		施設の供用	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
地盤	工事の施行中	施設の建設 建築物等の存在	×	施工方法、工事内容及び事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
	工事の完了後			
地形・地質	工事の施行中	施設の建設 建築物等の存在	×	施工方法、工事内容及び事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
	工事の完了後			
水循環	工事の施行中 工事の完了後	施設の建設 建築物等の存在	×	施工方法、工事内容及び事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。

表 5-1(2) 予測・評価の見直しの必要性

環境影響評価の項目		予測事項	見直しの 必要性	理 由
日影	工事の完了後	建築物等の存在	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
電波障害	工事の完了後	建築物等の存在	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
風環境	工事の完了後	建築物等の存在	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
景観	工事の完了後	建築物等の存在	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
自然との触れ 合い活動の場	工事の施行中	施設の建設	×	施工方法、工事内容及び事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
	工事の完了後	建築物等の存在		
廃棄物	工事の施行中	施設の建設	×	施工方法、工事内容の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
	工事の完了後	施設の供用	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。
温室効果ガス	工事の完了後	施設の供用	×	事業計画の変更はない。このことから、予測・評価の見直しは行わない。

注) 「見直しの必要性」において、「×」は見直し不要を示す。